

システム納品前セキュリティ検証報告書

顧客情報

顧客名: 株式会社〇〇〇
プロジェクト名: ECサイト刷新プロジェクト

AWS環境情報

監査対象: 本AWSアカウント (RAPID稼働環境)
リージョン: ap-northeast-1 (東京リージョン)
環境区分: ステージング環境

本レポートは、RAPIDがデプロイされている同一AWS
アカウント内のリソースを監査対象とします。
Gateway Lambdaは自アカウント内のAWS APIを呼び出し、
実際の設定値を取得して検証を行います。

納品予定日

2024年2月28日

セキュリティ要件

契約書別紙「AWSセキュリティ基準」に基づく

- RDS暗号化: 必須
- S3パブリックアクセス: 禁止
- IAM MFA: 全ユーザー必須
- CloudTrail: 有効化必須
- VPC Flow Logs: 有効化必須
- GuardDuty: 有効化必須

監査スコープ

本番環境へのデプロイ前の最終セキュリティ検証

以下のサービスを監査対象とする:

- Amazon RDS (データベース)
- Amazon S3 (静的コンテンツ)
- AWS IAM (アクセス管理)
- AWS CloudTrail (監査ログ)
- Amazon VPC (ネットワーク)
- AWS Config (設定管理)
- Amazon GuardDuty (脅威検出)

実施者

株式会社 システムズ
セキュリティ監査担当: 山田太郎
実施日: 2024年2月15日

監査方式

RAPIDのAWS Security Audit Gateway機能を使用し、
このドキュメントは、RAPID AWS Security Audit Gatewayを使用した監査用のサンプルです。
デプロイ済みのAWS環境に対してリアルタイムで
セキュリティ設定を取得・検証します。